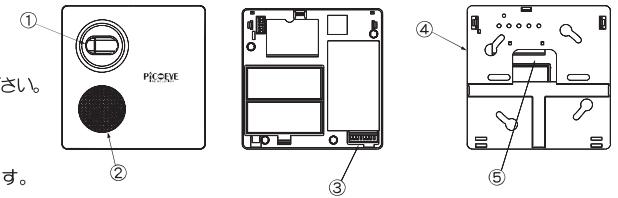


1. 各部のなまえとはたらき

- ①炎検出部
・ここで炎を検出します。
- ②スピーカ
・ここから音声警報がおこります。
- ③設定スイッチ
・『4. 動作及び機能の設定方法』を参考してください。
- ④取付ベース
・天井面、壁面に固定するのに使用します。
- ⑤入線口
・端子台に接続した線を配線するのに使用します。



3. センサーの取り付け

△ 警告

取り付けは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。



センサーは必ず正しい場所に取り付けてください。

誤った位置に取り付けると火災による炎を正常に検出できなかったり、誤作動の原因となります。

取り付け方法

(1) 取付ベースの取り付け

取付穴

本機は通常の取付穴の他に、取付施工にすぐれ、取付後の方角の調整が可能なダルマ穴(ピッチ83.5mm)を備えています。

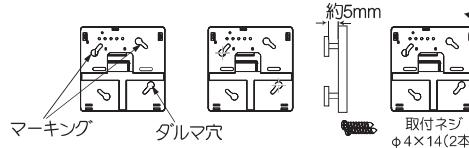
ダルマ穴について

①取付位置を決め、取付面にベースを当て、180°対向した2点をマーキングしてください。

②取付ネジ2本を取付面より約5mm程度浮かした状態までねじ込んでください。

③ベースのダルマ穴にネジ頭を通し、回転させ、向けたい方向に調整してください。

④取付ネジをしっかりと締結してください。



・造営材別の取扱方法について

木製で強度のある造営材の場合

使用金具…取付ネジ 4×14 2本

使用工具………プラスドライバー(大)

取付ネジを直接造営材にねじ込んでください。

以下 前記参照

金属製で強度のある造営材の場合

使用金具…取付ネジ 4×14 2本

使用工具………プラスドライバー(大)

ハンドドリル φ35

ドリルでφ3.5の下穴を造営材に空けてください。
下穴に取付ネジをねじ込んでください。

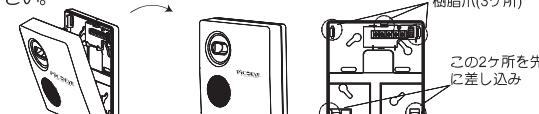
以下 前記参照

センサーは必ず正しい場所に取り付けてください。
誤った位置に取り付けると火災による炎を正常に検出できなかったり、誤作動の原因となります。

(2) 取付ベースへの取り付け/取り外し

・取り付け

製品下部の2ヶ所を最初に差し込んでから樹脂爪で取り付けてください。

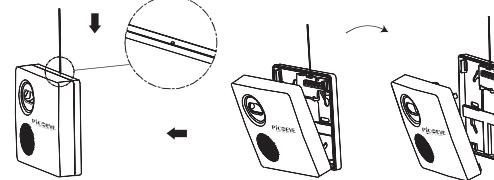


樹脂爪(3ヶ所)

この2ヶ所を先に差し込み

・取り外し

設置後は、取付ベース上部の小さい孔からピンを垂直に差し、真ん中の爪を解除した状態で機器上部を前に引き出し取り外します。



4. 動作及び機能の設定方法

動作

・警報動作(基本動作)

炎(紫外線)の検出が設定した蓄積時間以上連続した時に表示灯や音声警報等により警報を発します。

音声警報…音声警報を1回あるいは2回繰り返す
(繰り返し回数はスイッチの設定によるが、炎検出継続中は音声を繰り返す)

表示灯…音声警報中は0.2秒間隔で赤点滅し、以後赤点灯を継続

接点出力…炎検出中及び以後2秒または5秒間出力
(出力保持時間及び出力形式はスイッチの設定による)

・警報の復旧

放火監視受信装置での復旧操作により、表示灯及び警報出力は復旧します。放火監視受信装置から復旧操作なしに50分間経過した場合も同様です。



・スイッチによる機能設定

本体裏面のスイッチで機能を変更することができます。

SW1	蓄積時間	(SW1) / (SW2)
SW2		ON / ON :10秒 OFF / ON :5秒 ON / OFF:2秒 OFF / OFF:0.5秒 (推奨設定)

【A】 ピュ～ツ (3回)、ここは禁煙です。お煙草はご遠慮ください。

【B】 ピュ～ツ (3回)、ここは禁煙です。

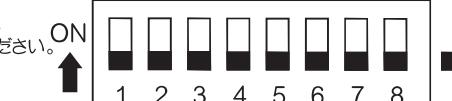
This is no smoking area. ピュ～ツ(3回)、

此处禁止吸烟 이곳은 금연입니다.

ピュ～ツ(3回)。

【C】 ピュ～ツ (約10秒繰り返し)

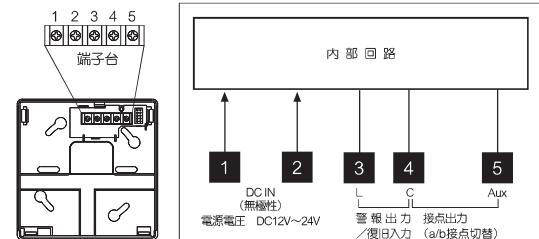
【D】 (鳴動無し)



2. 取り付ける前に

右図のように、取付ベースに配線してください。
センサーを取り付け電源を投入すると、炎検出部が緑に点灯します。警報入出力は放火監視制御受信装置との接続に使用します。

通電状態において放火監視盤から復旧操作を行った時に、センサーの表示が一旦消灯する場合は、接続が誤っている可能性があります。再度確認してください。



△ 警告

次のような場所には取り付けないでください。火災による炎を正常に検出できず、誤作動や故障の原因となります。



・5. 検出エリアを参考に設置個所を設定し、実際に動作確認を行い、死角が生じないよう適切な位置に設置してください。

・以下の場所には設置しないでください。

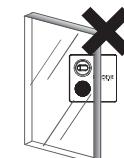
・常に火(炎)を使う場所(台所、炊事場等)。



・湿気の多い場所(風呂場等)



・前面に遮光物(ガラス、透明樹脂等を含む)のある場所



・0°C以下の低温、もしくは+40°C以上の高温になる場所

・前記の誤作動要因がある場所

SW5	音声繰返	ON :2回 OFF :1回
SW6	警報出力遅延	ON :5秒 OFF :無し
SW7	接点出力形式	ON :b接点 (警報時開) OFF :a接点 (警報時閉)
SW8	接点出力保持	ON :5秒 OFF :2秒

工場出荷時はすべて OFF